

【今後の】

外国につながる高校生たちの『活躍する力』を拓く

～学びと就労の実態が問いかける支援のあり方～

教育を受ける**権利**と
就学の**保障**



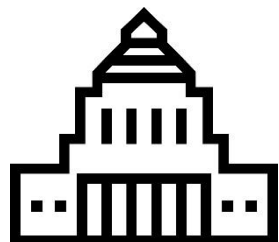
産業界での**活用**



教育現場での**支援**



教育**施策**



教育現場**へ**の支援



外国につながる高校生たち



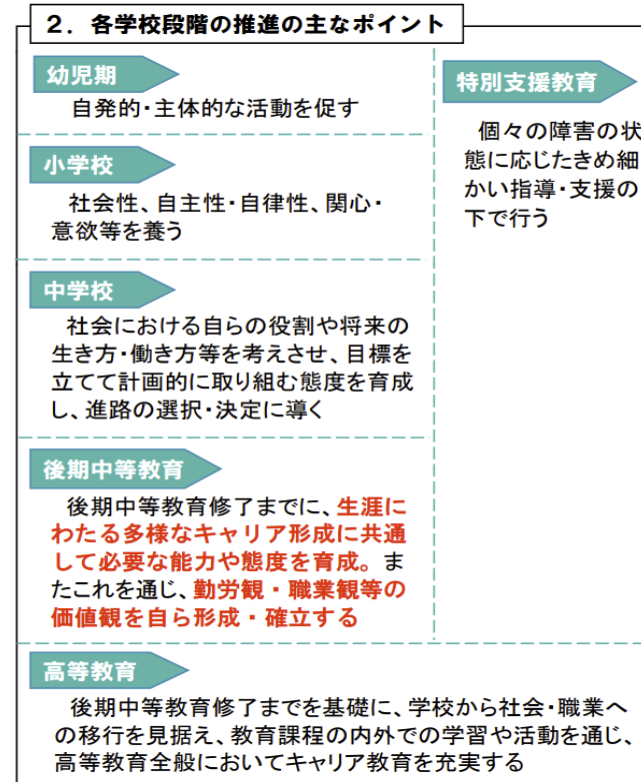
幼児期からのキャリア教育の充実

-生きがい・学びがい・働きがいを持って主体的に生きるために-

(5) 中学生・高校生の進学・キャリア支援の充実

- 外国人児童生徒等の進学・就職等の進路選択の支援
- 公立高等学校入学者選抜における外国人生徒等を対象とした特別の配慮（ルビ振り、辞書の持ち込み、特別定員枠の設置等）について、現状把握、情報共有による地方公共団体の取組促進
- 中学校・高等学校段階における進路指導・キャリア教育の取組促進
- 取出し方式による日本語指導の方法や制度的な在り方、高等学校版JSLカリキュラムの策定の検討

中央教育審議会初等中等教育分科会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して」(中間まとめ)のポイント（北山氏）



中央教育審議会(平成23年3月1日)
「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」

【残された課題】

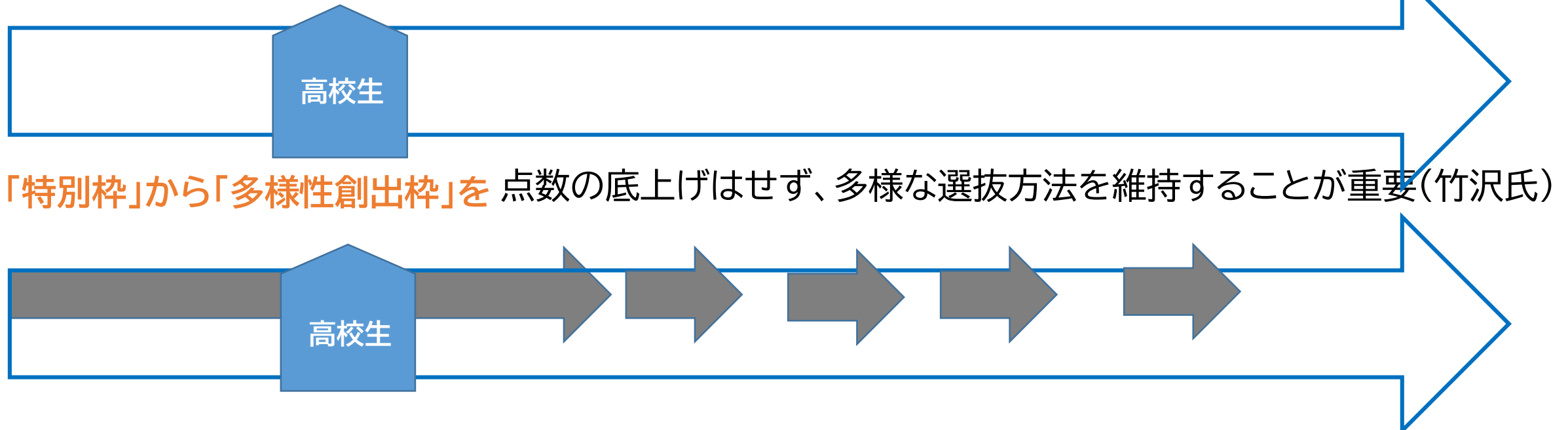
外国につながる高校生たちの『活躍する力』を拓く

～学びと就労の実態が問いかける支援のあり方～



幼児期からのキャリア教育の充実

-生きがい・学びがい・働きがいを持って主体的に生きるために-



だがしかし現状では
「特別枠」は不可欠

多様な学びの場(時期や進路の選択が弾力的な学びの場)を通して

能力(Ability)

パーソナリティ(Personality)

を磨き

職業適合性(Vocational Fitness)

を高める場の活用を

参考例



「グローバル・ハタラクラスぐんま」プロジェクト(群馬大学) 文部科学省委託事業「留学生就職促進プログラム」

<https://gllp.hess.gunma-u.ac.jp/ghkg-shushokusokushin/>





外国につながる高校生たち

職業適合性の向上

知識・技能を
習得する

キャリアビジョン
を描く

多様性に対応する
コミュニケーション力
を身につける



中長期インターンシップ

自己効力感を
体感する

地域と人の
ネットワークを
広げる

成功体験を
重ねる

外国につながる若者が
生きがい・学びがい・働きがい
を持って主体的に生きる



自分が日本でできることがある
自分は日本で必要とされている

